



みなさんのクラスではロールプレイをしたことがありますか。今回はひとつの会話を例にとり、それをクラスの中でどうやって練習させるかを具体的に紹介したいと思います。



なまえ ロールプレイ

目的・教えること
人を誘ったり、誘いをうけたりことわたりできるようにする。
学習者のタイプ
初級から中級。
クラスのタイプ
8人以上。
準備するもの
会話例。ロールカード。(付録)

ロールプレイは、学習者がある場面の中で会話をしてみる練習です。

教室で日本語を教えるときにはできるだけ現実の場面で見られるように教えることが大切です。現実の場面での会話では、何かを質問したとき、相手がどう答えるかははっきりわかりません。会話をする人同士が相手から必要な情報をもらったり相手に情報を与えたりしながら会話を展開させていきます。ロールプレイの最終目標は、あらかじめ決められた会話がすらすら言えるようになることではなく、学習者が自分でことばを選び、必要な情報を得るために自分自身で会話が進めていけるようになることです。

ロールプレイをさせる時に、「この場面で会話をしなさい」とだけ言って会話をさせようとしたら、学習者はどうしていいかわからなくなってしまいます。まず、学習者に、

①与えられた場面の中でどんな目的でどんな情報を聞き出さなければならないかを理解させることが必要です。

また、会話に必要なことばを知らない学習者の場合には、

②質問をしたり答えたりするためのことばを教え、練習させることも必要です。

①のために「ロールカード1」を使います。「会話例1」は、②の目的のために使います。

ここでは、語彙が少なくまだロールプレイに慣れていない学習者にロールプレイをさせる手順を紹介しします。

方 法

●教室で

1) ペアをつくる前に先生は学生に、休みの日に何がしたいか、何をしたいかを質問し、休日に出かけるところ、することなどを出し合います。ひとりがいくつ答えを出してもかまいません。
(目的：ことばの確認と何に誘うかのアイデアを出す。)

2) 会話例1 (吹き出し式) を使って先生は学生をペアにして各ペアの1人に会話例Aのカードを、もう1人にBのカードを渡します。吹き出しの会話例1の下線部に、1) で出てきたことばを入れて置き換え練習をします。カードを見ないで会話ができるようにするまで練習してください。

3) ロールカード1を使って2) でAのカードを持っている人にロールカードAを、Bのカードを持っている人にロールカードBを渡します。そして、会う場所と日時を決めるように指示します。教師は各ペアの会話をチェックして回ります。

4) 自由な会話今度は学生に、1) で出てきたことばを使って自由に友だちと休みの日の約束をさせます。教師は各ペアの会話をチェックして回ります。

5) ペアの会話が終わったら (クラス全体で)

▷活動のまとめ

- ①各ペアが何を決めたか発表します。
- ②他のペアの人に何を決めたか聞きます。
- ③各ペアが他のペアに呼びかけ一緒に行く仲間をふやします。

▷ことばのチェック

教師は3)、4)でチェックした学生^{がくせい}のまちがいをとりあげて説明^{せつめい}します。また他に^{ほか}に適^{てき}した表現^{ひょうげん}があれば教^{おし}えます。

応 用

- ▷学習者^{がくしゅうしゃ}のレベルによっては、3) から直接^{ちくせつ}始めてもかまいません。
- ▷会話例^{かいわれい}2のように先生^{せんせい}を誘^{さそ}うことにして、丁寧^{ていねい}な言い方^{かた}の練習^{れんしゅう}をします。
- ▷断^{こと}わられても、いい条件^{じょうけん}をいって説^{せつ}得^{とく}して連^つれて行^いけるようにします。

【参考】

- ロールプレイについては、次^{つぎ}のような参考書^{さんこうしょ}があります。
- 『ロールプレイで学ぶ^{まな}会話^{かいわ} (1)』 凡人社^{ぼんじんしゃ}
 - 『ロールプレイで学ぶ^{まな}会話^{かいわ} (2)』 凡人社^{ぼんじんしゃ}
 - 『24 Tasks for Basic Modern Japanese Vol. 1』 にほんごきいてはなして』 The Japan Times
 - 『24 Tasks for Basic Modern Japanese Vol. 2』 にほんごきいてはなして』 The Japan Times
 - 『ロールプレイとシミュレーション コミュニケーション重視^{じゅうし}の学習活動^{がくしゅうかつどう} 2』 凡人社^{ぼんじんしゃ}



今回は、平成^{へいせい}5年度^{ねんど}長期^{ちやうき}研修生^{けんしゅうせい}として現在^{げんざい}日本語^{にほんご}国際^{こくさい}センターに滞在^{たいざい}しているタイのスイリポンさんのアイデアをもらいました。

このコーナーではみなさんからのアイデアを募集^{ぼしゅう}しています。編集部^{へんしゅうぶ}あてにおたよりをください。お待ちしております。

このコーナーの担当^{たんとう}：笠原^{かさほら}ゆう子^こ 木山^{きやま}登茂^{ともこ}子^こ (日本語^{にほんご}国際^{こくさい}センター日本語^{にほんご}教育^{きやういく}専門員^{せんもんいん})

